

所在地：木更津市清見台  
 施主：大澤藤満  
 設計：濱田昭夫(TAC濱田建築設計事務所)  
 施工：(株)新昭和

景観に配慮した住宅  
**木更津の家(大澤邸)**



撮影：小林浩志/スパイラル

清見台の眺望のよい丘陵地に建つ瀟洒な和風住宅で、屋根の形や全体のプロポーションが周辺の景観と見事に融合した美しい佇まいである。

木材の質感を存分に引き立たせるようなディテールが随所に工夫され、柔らかい暖かみのある建築空間を構成している。

敷地は南斜面の造成地で、北側隣地の境にある高さ3mの擁壁に対する地震時の安全性を確保するために、擁壁の基礎を兼ねたRC造の地下備蓄庫を設けた。

玄関及び中庭のレベルを中二階とするスキップフロア構造で、上下階を二世帯住宅として生活している。

雁行型プランとし、浴室と全ての居室を南面させることにより、快適な居住性と良好な眺望を求めた。

屋根は東西に棟を通した長手2段の切妻とし、深い軒先と雁行するバルコニーの彫りの深い陰影が美しい。

木材や石、砂等はできるだけ地場産を使用し、大工や左官、建具等の職人も地元の優れた伝統技術をもった腕前を集めて、地方の産業、文化や職人の技を生かそうとする設計者の姿勢に強く共感を覚えた。

時間の経過とともに古色を増して、ますます深みが出てくるような味わいのある住まいが完成し、幼い頃の原風景であった旧家への思いが設計者に伝わって、期待通りの出来栄に施主は満足の様子であった。

(明智克夫)



撮影：小林浩志/スパイラル